

第6回 栃木市・大平町・藤岡町・都賀町
合併協議会

会議録

平成22年2月26日（金）午後2時

栃木市保健福祉センター

会 議 録

会議の名称	第6回栃木市・大平町・藤岡町・都賀町合併協議会		
開催日時	平成22年2月26日(金) 14時00分開会・14時35分閉会		
開催場所	栃木市保健福祉センター		
議長氏名	日向野義幸		
出席者及び 欠席者氏名	別紙1のとおり		
事務局氏名	別紙1のとおり		
会議事項	1 議題 別紙2「会議事項」のとおり	2 会議結果 協議事項なし	
	会議の経過 (議事の要旨)	別紙3のとおり	
会議資料	第6回栃木市・大平町・藤岡町・都賀町合併協議会 会議資料		
その他の事項			
会 議 録 の 確 定			
確 定 年 月 日		記 名 押 印	
平成22年 3月11日		委員 <u>柴田保男</u> ㊟ 委員 <u>進上芳雄</u> ㊟	

別紙1 出席者及び事務局

出席者（委員）

会 長 日向野 義幸
副会長 永 島 源 作
委 員 石 橋 勝 夫
委 員 桜 井 均
委 員 吉 田 稔
委 員 大 森 良 春
委 員 大 出 三 夫
委 員 島 田 稔
委 員 田 中 博
委 員 成 田 二 郎
委 員 岩 下 邦 夫
委 員 鶴 見 昌 展
委 員 大 島 公 一
委 員 佐 山 幸 子
委 員 竹 澤 義 雄
委 員 進 上 芳 雄
委 員 佐 藤 雅 一
委 員 日 向 野 孝 夫
委 員 中 村 祐 司
委 員 伊 藤 勤

副会長 鈴 木 俊 美
副会長 青 木 富 士 夫
委 員 堤 正 美
委 員 小 栗 光 男
委 員 須 田 安 ・
委 員 高 岩 義 祐
委 員 柴 田 保 男
委 員 瀬 下 一 男
委 員 安 生 孝 章
委 員 中 島 俊 雄
委 員 臼 井 浪 之 助
委 員 菅 沼 初 代
委 員 大 和 田 英 雄
委 員 松 本 政 則
委 員 田 中 久 巳
委 員 筑 比 地 幸 子
委 員 大 橋 重
委 員 金 山 ヒ デ 子
委 員 舩 田 眞 里 子

出席者（幹事）

- 幹事 片柳 実（栃木市企画部長）
- 幹事 尾上 光男（栃木市総務部長）
- 幹事 河田 文男（大平町総務課長）
- 幹事 和久井 弘之（大平町企画財政課長）
- 幹事 川島 正（藤岡町総務企画課長）
- 幹事 田沼 正（藤岡町財政管理課長）
- 幹事 黒川 晃（都賀町会計管理者兼出納室長）
- 幹事 川津 正夫（都賀町政策財務課長）

出席者（事務局）

- 大橋 定男（事務局長）
- 小保方 昭洋（事務局次長）
- 稲葉 隆造（事務局次長）
- 江面 健太郎（総務班長）
- 鈴木 健司（計画班長）
- 田中 典行（調整第1班長）
- 小島 靖夫（調整第2班長）
- 下司 克之（総務班）
- 小野 晶久（総務班）
- 小林 康訓（計画班）
- 渡辺 浩昭（調整第1班）
- 須藤 亮介（調整第2班）
- 石川 徳和（調整班）
- 川嶋 衛（調整班）

別紙2 会議事項

1 開 会

2 会長あいさつ

3 会議録署名委員の指名

4 議 事

(1) 報告事項

報告第16号 新市職務執行者について

報告第17号 新市発足時の専決処分等について

報告第18号 暫定行政委員について

報告第19号 平成21年度栃木市・大平町・藤岡町・都賀町合併協議会決算等の取扱いについて

報告第20号 閉市町式の日程等について

5 その他

6 閉 会

別紙 3

(会議の経過)

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
◎大橋事務局 長	<p>本日はお忙しい中、合併協議会にご出席を賜りまして、大変ありがとうございます。会議に先立ちまして、資料の確認をさせていただきます。</p> <p>本日の資料につきましては、事前にお配りいたしました、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「第6回会議次第」と「席順」をとじたもの ・「第6回会議資料」 <p>の2点でございます。また本日、参考資料としてお配りさせていただきます頂きましたものが、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・合併協定調印式の様子や合併までのあゆみをまとめた「経過記録」 ・「新市まちづくり計画（製本）」 <p>の2点でございます。よろしく願いいたします。</p> <p>1. 開会</p> <p>定刻になりましたので、ただいまから第6回栃木市・大平町・藤岡町・都賀町合併協議会を開会いたします。</p> <p>私は、本日の司会進行を務めさせていただきます合併協議会事務局の大橋でございます。よろしく願いいたします。</p> <p>2. 会長あいさつ</p> <p>それでは次第の2、会長あいさつに入らせて頂きます。会長であります日向野栃木市長からごあいさつを申し上げます。</p>
◎日向野会長	<p>皆さん、こんにちは。本日も大変お忙しい中、第6回となります合併協議会にご出席を賜りまして、まことにありがとうございます。会議を開催するに当たりまして、一言ごあいさつを申し上げます。</p> <p>さて、新市発足まで1か月余りとなりまして、合併協議会も、いよいよ本日が最後の協議会の開催となりました。</p> <p>委員の皆様方には、西方町も含めた1市4町での合併協議会を13回、1市3町となりましてからの合併協議会を6回、合計19回の合併協議会にご出席を頂いたこととなります。大変お忙しい中ご出席を賜り、熱心にご協議を頂</p>

<p>◎大橋事務局 長</p>	<p>きました委員の皆様方に、あらためて心から感謝と御礼を申し上げますとところでございます。</p> <p>現在は、皆様方にご協議を賜りました合併協定項目の調整方針に基づきまして、1市3町の全職員が一丸となりまして、新市誕生の準備を進めているところでございます。</p> <p>委員の皆様方には、今後とも引続きまして、新市の発展に対しましてご支援とご協力を賜りますよう、心からお願い申し上げます、冒頭のごあいさつに代えさせていただきます。</p> <p>今日も最後まで、どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>ありがとうございました。</p>
<p>◎日向野議長</p>	<p>3. 会議録署名委員の指名</p> <p>続きまして、会議に入らせて頂きます。</p> <p>会議の議長につきましては、合併協議会規約第10条第2項の規定により、会長が当たることとされておりますので、よろしくお願いいたします。</p>
<p>◎大橋事務局 長</p>	<p>それでは座ったままで失礼させていただきます。しばらくの間、会議の進行を務めさせていただきますので、皆様方のご協力を心からお願い申し上げます。</p> <p>それでは最初に委員の定足数について、確認をいたします。ただいまの出席状況を事務局から報告願います。</p>
<p>◎大橋事務局 長</p>	<p>ご報告させていただきます。本日の会議につきましては、39名すべての委員さんにご出席を頂いております。</p> <p>以上でございます。</p>
<p>◎日向野議長</p>	<p>ただいまの報告のとおり、規約に定める定足数に達しておりますので、本日の会議は成立いたします。</p> <p>次に、次第の3、会議録署名委員の方を指名させていただきます。本日の会議録署名委員は、大平町の柴田委員さんと藤岡町の進上委員さんをお願いいたします。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>それではここで、会議次第に沿って議事の確認をさせていただきます。</p> <p>本日の協議会の議事は、お手元の次第のとおり、報告事項が5件でありますので、議事の進行につきましてご協力</p>

<p>◎小保方事務局次長</p>	<p>をお願いいたします。</p> <p>それではまず、(1) 報告事項に入ります。</p> <p>「報告第16号 新市職務執行者について」を議題といたします。事務局から説明をお願いいたします。</p> <p>合併協議会事務局の小保方です。よろしくお願いいたします。</p> <p>新市職務執行者についてご説明いたしますので、会議資料の1ページをご覧頂きたいと思います。</p> <p>「報告第16号 新市職務執行者について」、新市職務執行者について下記のとおり報告するといたしまして、記の部分でございますが、栃木市長職務執行者を永島源作 現藤岡町長とするものでございます。</p> <p>職務執行者につきましては、1市3町の首長さん方は、合併の日の前日に失職することになりますことから、合併当日から新市の市長が選任されるまでの間、新市の行政運営に支障をきたすことがないように、1市3町の首長の中から協議により選定することとなっております。</p> <p>過日、首長さん方のご協議によりまして、永島町長が選定されましたので、本日ご報告するものでございます。</p> <p>以上、ご報告を終わります。よろしくお願いいたします。</p>
<p>◎日向野会長</p>	<p>ただいまのご報告のとおり、我々首長間で協議を行いまして、永島町長をお願いすることになりました。</p> <p>ここで、永島町長に一言ごあいさつをお願いいたします。</p>
<p>◎永島副会長</p>	<p>永島でございます。</p> <p>ただいま報告がありましたとおり、栃木市長の職務執行者として就任することになりました。大変未熟者でございますので、本日お集まりの委員の皆様をはじめ、市民の皆様の絶大なご支援を賜りますようお願い申し上げまして、ごあいさつといたします。よろしくお願いいたします。</p>
<p>◎日向野会長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>新市発足の大変な時期ではございますが、どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは次に移らせて頂きます。</p> <p>続きまして、「報告第17号 新市発足時の専決処分等に</p>

◎小保方事務局次長

ついて」を議題といたします。事務局から説明をお願いいたします。

会議資料の2ページをご覧頂きたいと思います。

新市発足時の専決処分等についてご説明いたします。

「報告第17号 新市発足時の専決処分等について」、別紙のとおり報告するというものでございます。

3ページをご覧頂きたいと思います。

今回の合併は新設合併となりますことから、1市3町ともにいったんは法人格が消滅することになりますので、新市発足時に条例や規則などは新たに制定することになります。

また、新市発足時に必要な予算の調製など、行政運営に必要な手続きを行わなければなりません。

そのような手続きの中には本来、議会の議決を必要とする手続きもございますが、新市発足時におきましては、議会も存在しないことから、議会の議決を要する手続きにつきましては市長職務執行者が専決処分を行い、後日、議会に報告させて頂くこととなります。

本資料は、そうした専決処分を行う案件の一覧表でございます。

1の即時施行の条例・告示につきましては現在、最終調整を進めている状況でございます。市役所の位置を定める条例、休日を守る条例など、概ね250件程度を予定しております。

2及び3の平成21年度一般会計、特別会計、水道事業会計の暫定予算につきましては、新市発足となります3月29日から平成21年度の最後の業務日となります3月31日までの3日間の必要最低限の予算を組むものでございます。

4 字名の変更、5 指定金融機関の指定、6 下都賀地区視聴覚ライブラリー協議会に加入することにつきましては、事務調整の結果に従いまして、所要の手続きをとるものでございますが、いずれも議会の議決が必要となることから、専決処分とさせて頂くものでございます。

以上で、ご報告を終わります。よろしくお願いいたします。

<p>◎日向野会長</p>	<p>ただいまの説明に対しまして、皆様方から何かご質問等がございましたらば、お願いいたします。</p> <p>よろしいですか。</p> <p>ないようでございますので、次に移らせて頂きます。</p> <p>続きまして、「報告第18号 暫定行政委員について」を議題といたします。事務局から説明をお願いいたします。</p>
<p>◎小保方事務局次長</p>	<p>会議資料の4ページをご覧頂きたいと思います。</p> <p>「報告第18号 暫定行政委員について」、別紙のとおり報告するというものでございます。</p> <p>会議資料の5ページをご覧頂きたいと思います。</p> <p>行政委員会の委員さんにつきましても、首長さんや議員さん方と同様、合併の前日をもって失職となりますが、新市発足時から設置することが定められております教育委員会、固定資産評価審査委員会、選挙管理委員会の委員さんにつきましては、正式に委員さんが選任されるまで、暫定委員の方々にご就任頂くこととなっております。</p> <p>暫定委員の選任手続きにつきましては、それぞれ異なりますが、各行政委員会での協議などによりまして、本資料のとおり暫定委員予定者が内定いたしましたことから、ご報告させて頂くものでございます。</p> <p>なお、それぞれの暫定委員予定者の皆さんはご覧のとおりでございますので、お名前の読み上げは省略させていただきます。</p> <p>以上、ご報告を終わります。よろしくお願いいたします。</p>
<p>◎日向野会長</p>	<p>ただいまの説明に対しまして、皆様からご質問等がございましたらば、お願いいたします。</p> <p>ないようでございますので、次に移らせて頂きます。</p> <p>続きまして、「報告第19号 平成21年度栃木市・大平町・藤岡町・都賀町合併協議会決算等の取扱いについて」を議題といたします。事務局から説明をお願いいたします。</p>
<p>◎江面総務班長</p>	<p>総務班の江面でございます。よろしくお願いいたします。</p> <p>報告第19号のご説明をさせていただきます。</p> <p>資料の6ページをご覧ください。</p> <p>「報告第19号 平成21年度栃木市・大平町・藤岡町・都賀町合併協議会決算等の取扱いについて」、平成21年度</p>

栃木市・大平町・藤岡町・都賀町合併協議会決算等の取扱いについて、別紙のとおり報告するというものでございます。

7ページをご覧ください。

はじめに、栃木市・大平町・藤岡町・都賀町合併協議会決算等の取扱いについてでございますが、平成22年3月29日から新生栃木市が発足するため、栃木市・大平町・藤岡町・都賀町合併協議会はその役割を終了することから、平成22年3月28日をもって解散するものとし、解散に伴う平成21年度の決算処理につきましては、下記のとおり取扱うものとするというものでございます。

まず、1としまして、協議会規約第19条の規定により、協議会の収支につきましては解散の日をもって打ち切り、会長であった方がこれを決算するというものでございます。

次に、決算の認定につきましては、協議会財務規程第8条に、会長は会計年度終了後3か月以内に決算を調製し、監査委員の監査に付した後、協議会の承認を得るものとする規定されておりますが、3月28日をもって協議会が解散となることから、承認を得る機会はありません。従いまして、2としまして、監査委員であった方の監査が終了次第、委員であった皆様へ決算書・監査報告書の写しを送付させて頂くことによりまして、協議会のご承認を頂いたものとさせて頂きたいというものでございます。

3としまして、決算により確定します剰余金、これまでに購入しました事務用品、保有する文書などは残務も含めまして、これらすべてを新市に引き継ぐというものでございます。

8ページは、参照条文の掲載でございます。

9ページをご覧ください。

続きまして、平成21年度合併協議会歳入歳出決算見込でございますが、歳入総額といたしまして33,338,797円、歳出総額としまして、27,289,081円、歳入歳出差引額といたしまして、6,049,716円を見込んでおります。

12ページをご覧ください。

歳入歳出決算見込事項別明細書の歳入でございます。

1款1項1目1節 市町負担金につきましては、予算現

額、調定額、収入済額いずれも 33,334,000 円の見込でございます。

4 款 1 項 1 目 1 節 諸収入につきましては、予算現額 1,000 円、調定額、収入済額いずれも 4,797 円の見込でございます。

歳入合計では、予算現額 33,335,000 円、調定額、収入済額いずれも 33,338,797 円の見込でございます。

13 ページをご覧ください。

次に、歳入歳出決算見込事項別明細書の歳出でございます。

1 款 運営費のうち、1 項 1 目 会議費につきましては、予算現額 1,373,000 円に対し、支出済額 792,570 円、不用額は 580,430 円の見込でございます。

主なものは備考に記載してございますが、1 節 報酬につきましては、協議会出席分の委員報酬でございます。

1 1 節 需用費は会議用消耗品費、飲物でございます。

2 項 1 目 事務費につきましては、予算現額 9,374,000 円に対し、支出済額 4,021,120 円、不用額は 5,352,880 円の見込でございます。

4 節 共済費、7 節 賃金は臨時職員の社会保険料と賃金でございます。

14 ページをご覧ください。

1 1 節 需要費は、事務用消耗品、ガソリン代、1 2 節 役務費は、切手代及びホームページ用サーバの利用料、1 4 節 使用料及び賃借料は、コピー機、レンタカー、駐車場の使用料でございます。

事務費の不用額の発生した主な理由としましては、協議会資料や例規整備に使うコピー用紙の購入が、かなり少なかったこと、これに伴いコピーの数量も少なかったことでございます。

2 款 1 項 1 目 事業推進費につきましては、予備費から 1 2 節 役務費に 389,000 円を充用いたしまして、予算現額 22,477,000 円に対し、支出済額 22,475,391 円、不用額は 1,609 円の見込でございます。

1 2 節 役務費は、新市誕生 PR 新聞広告料、新市の市章デザイン募集チラシの新聞折り込み料でございます。な

<p>◎日向野会長</p>	<p>お役務費には、委託料から560,000円を流用いたしております。</p> <p>15ページをご覧ください。</p> <p>13節 委託料は、合併市町村基本計画策定等支援業務といたしまして、合併市町村基本計画作成に伴う事務支援及び協議会だより作成費、例規整備並びに事務事業一元化支援業務といたしまして、新市の例規原案の作成費、電算システム統合に伴う仕様設計監理業務といたしまして、戸籍、内部情報系システムの調達支援及び統合作業進捗監理費、ネットワークシステム統合に伴う実施設計・施工監理業務といたしまして、庁舎間の広域接続、庁内ネットワークシステムの実施設計及び施工監理費、事務室統合移転統括管理業務といたしまして、新市事務室レイアウト図の作成及び引越し支援費、合併啓発用品作成業務といたしまして、のぼり旗、マグネットシールの作成費でございます。</p> <p>3款1項 予備費につきましては、予算現額、不用額ともに111,000円の見込でございます。</p> <p>歳出合計では、予算現額33,335,000円に対しまして、支出済額27,289,081円、不用額は6,045,919円を見込んでおります。</p> <p>この不用額6,045,919円につきましては、決算剰余金として全額新市に引き継ぐこととさせて頂くものですが、これにつきましては協議会解散後、正式な決算を調製し、監査を受けた後、委員であった皆様に書面にてご報告をさせていただきます。</p> <p>以上で、栃木市・大平町・藤岡町・都賀町合併協議会決算等の取扱いについてのご説明を終わります。よろしくお願いたします。</p> <p>ただいまの説明に対しまして、皆様からご質問・ご発言等がございましたらば、お願いたします。</p> <p>それではないようでございますので、ただいまご報告いたしましたような流れで事務手続きを進めてまいりますので、よろしくお願いたします。</p> <p>続きまして、「報告第20号 閉市町式等の日程について」を議題といたします。事務局から説明をお願いたします。</p>
---------------	--

◎小保方事務局次長

会議資料の16ページをご覧頂きたいと思います。
「報告第20号 閉市町式の日程等について」、別紙のとおり報告するというものでございます。
会議資料の17ページをご覧ください。
これまでもご説明いたしましたとおり、本地区の合併は新設合併となりますことから、いったんは1市3町ともにその歴史を閉じることになります。
そのため、これまでのそれぞれの自治体の経過に思いを馳せながら、思い思いの方法によりまして閉市式、閉町式を行うこととなりました。
それぞれの開催日時等につきましては、ご覧のとおりでございます。
また、1市3町の最後の業務日となります3月26日は、それぞれの庁舎の幕を下ろすこととなりますことから、ご覧のような時間で、庁舎を閉じる閉庁式を行う予定でございます。
最後に、参考といたしまして、3月29日新市発足時に行う開庁式の予定を記載させて頂きました。
現時点では、簡易な看板を作成いたしまして、栃木市役所玄関前で除幕などのセレモニーを行った後、3階正庁で市長職務執行者から職員への訓示を行う予定でございますが、玄関前のセレモニーはどなたでもご覧頂くことが可能でありますので、ご報告させて頂きます。
以上でご報告を終わります。よろしくお願いいたします。

◎日向野会長

ただいまの説明に対しまして、皆様からご質問等がございましたらば、お願いいたします。
ないようでございますので、ただいまのご報告のとおり、そのような日程で開催されますので、ご承知おきくださいますようお願いいたします。
続きまして、次第の5、その他に入ります。事務局から説明がございますので、お聞き取り願います。

◎小保方事務局次長

事務局から2点ほどご連絡申し上げます。
まず、本日お配りさせて頂きました写真を掲載いたしました資料でございますが、昨年9月から始まりました1市3町の合併協議会の経過を、都賀町中央公民館講堂で行われました調印式の様子や、それぞれの会議風景などを織り

<p>◎日向野会長</p>	<p>交ぜながらまとめたものでございます。参考資料としてお配りさせていただきますので、よろしくお願ひいたします。</p> <p>次に、過日コピーでご確認を頂いておりました新市まちづくり計画について、製本作業が完了いたしましたので、本日お配りさせていただきました。</p> <p>新市の基本方針となる計画でございますので、後ほどご覧頂きたいと存じます。</p> <p>以上、事務局からの連絡を終わります。よろしくお願ひいたします。</p> <p>ただいまの説明のとおり、1市3町の合併協議会の経過記録でございますので、お持ち帰り頂きたいと存じます。</p> <p>他に委員の皆様の中で、特に何かご質問、ご意見等がございましたらば、ご発言願ひたいと存じます。</p> <p>特になければ、本日の会議は、これをもってすべての議事が終了いたしました。</p> <p>長い時間、ご協議を賜りまして、誠にありがとうございます。進行は事務局にお戻しいたします。</p>
<p>◎大橋事務局 長</p>	<p>会長には、議事進行ありがとうございました。</p> <p>本日の合併協議会が最後の協議会となりますので、閉会に当たりまして、正副会長よりごあいさつを申し上げます。</p> <p>はじめに、鈴木大平町長お願ひいたします。</p>
<p>◎鈴木副会長</p>	<p>一言、ごあいさつを申し上げさせていただきます。</p> <p>今思い起こせば、平成20年の12月が第1回目の合併協議会であったかと思ひます。それ以来、先ほど会長のほうからご報告がありましたとおり、19回の合併協議会を重ねることによりまして、本日文宇どおり合併協議会終焉の日を迎えるわけでございます。この合併協議に先立つこと我々、当時5町の首長の間でも何回かの検討会を開いた経過がございますので、そうしたことまで含めて考えれば2年から3年近くの、今後の地域の一体化に向けての取り組みをどうするかということについて、様々な議論を重ねてきたところでございます。</p> <p>そのような経過の中で、皆様ご承知のとおり藤岡町や西方町、あるいはそれに先立つ岩舟町などでも、住民の方々からの様々な運動などが展開されたという経過もございま</p>

<p>◎大橋事務局 長</p>	<p>した。そのような経過を経て、こうして無事合併協議が終了しようとしているわけでございまして、こうなりますといよいよ後は3月29日の新市発足を待つのみとなったところでございます。このような経過をたどりながら、こうして無事合併協議が終了するに至りましたのも、合併協議会委員の皆様お一人お一人の、これまでの様々なご支援やご協力、そしてご提言等々があったからこそでございます。副会長の一人として心から皆様にお礼を申し上げるとともに、3月29日に発足する新市は必ずや我々にとってすばらしい町になっていくであろうことを確信しながら、皆様にお礼と感謝の言葉を申し上げさせていただきます。</p> <p>長い間、本当にお世話になりました。ありがとうございました。</p> <p>ありがとうございました。 続きまして、永島藤岡町長お願いいたします。</p>
<p>◎永島副会長</p>	<p>一言ごあいさつを申し上げたいと思います。</p> <p>ただいま大平町長が申し上げましたとおり、委員の皆様には格別なるご協力、ご支援を賜りまして本日を迎えたこと、心からお礼と感謝を申し上げるところでございます。</p> <p>時に私自身が振り返ってみますと、今回の平成の藤岡町における合併の問題につきましては、本当にいろんな紆余曲折がございまして本日を迎えたということは、本当に感激に堪えないところでございます。なお、私が強いて言うならば、3月29日以降の新栃木市の成立と言いますか、これからのまちづくりをどうするんだということをですね、これからも協議会の委員さんをはじめ、市民の皆さんが今まで培ってきたこの合併協議会の内容を踏まえて、本当に良かったという新栃木市をつくっていきたい。また皆さん方にもそれをお願い申し上げ、いろんな面から叱咤激励を今後も頂きますことを心からお願い申し上げまして、御礼のごあいさつとさせていただきます。</p> <p>大変長い間、ご苦勞様でございました。</p>
<p>◎大橋事務局 長</p>	<p>ありがとうございました。 続きまして、青木都賀町長お願いいたします。</p>

◎青木副会長

まず最初に合併協議会の委員さん、そして幹事さん、それから各部会の皆様方、そして事務局の皆様方に心より御礼を申し上げたいと思います。

ただいまお話にもありましたように、今までの19回の協議会の重ねたものは、3月29日以降の事実上の進み方に対しまして、良い影響が出ていくように当然望むわけがありますが、29日以降が本当の大変な状況に入っていくわけでございます。真の新設・対等合併とはどういうことなのか、そしてまた、地域自治制度というものの運用について、名ばかりでなく、空回りとならないように努力していかなければならないと思っております。過去の県内の対等合併等の内容をお聞きしておりますと、4、5年間はなかなか一体化をしようとするけれども、いろいろ難しい面があると、こういうような話も聞いておるわけですが、この新栃木市につきましては1年も、あるいは1か月でも早く、本当の意味で市民全体が一体となっていかなければ、この合併した意味がないというふうに思っているところでございます。

都賀町の関係でちょっと触れさせてもらいますと、我が都賀町の場合は、議員の皆様方をはじめ、町民の皆様の深いご理解を頂きまして、何のいろいろな状況等もなく、そのご理解の上に立って進めてこられたこと、私から町民の皆様に対して本当に心から御礼を申し上げたいと思いますし、そしてまた、都賀町に絡む近所の西方町の早期合流、このことについてはどうしても都賀町としては一番大切な状況変化になってくると思いますので、1年と言わずそれこそ1日も早く新市に合流して頂くことを望みまして、私からの皆様方に対しますお礼の言葉とさせて頂きたいと思っております。ありがとうございました。

◎大橋事務局
長

ありがとうございました。

続きまして、日向野栃木市長お願いいたします。

◎日向野会長

最後になりました。委員の皆様には長きにわたり、この合併協議会を支え、ご支援を頂きましたことをまず冒頭に心から感謝と御礼を申し上げたいと存じます。

一言で言えば、よくここまで辿り着くことができたなど、そのことでいっぱいあります。こうして合併協議会19

回の回数を重ねる度に、ご出席の皆様方のご支援とご理解、さらには熱心なご協議、その皆様の情熱があったからこそ、今日のこの合併協議会終結の日を迎えることができたというふうに思っております。心を通わせ、力を合わせ、そして自分たちのふるさとを本当にいい町にしたいという皆様の情熱にあらためて感謝と御礼を申し上げるところでございます。

しかし、合併はゴールではありません。合併をしてこれからどんな理想的な町をつくるのか、私たちの大切な子どもたちやこの新栃木市に住むそれぞれの皆さんが、本当にそこに生まれて良かったなと、ここに暮らせて良かったな、そう言ってもらえるような、そんな新生栃木市をつくるのは、まだまだこれからであります。

委員の皆様方には、合併協議会終了後も良き新市づくりのパートナーとしてご理解、ご支援を賜りますように、重ねてお願いを申し上げるところでございます。

そしてこの合併協議会に際しまして、陰ながらこの協議会を支えて頂きました栃木県市町村課の職員の皆さん、さらには通常の業務を抱えながら精力的に合併に関わる事務を進めて頂きました1市3町の全職員の皆さん、さらには昼夜を問わず懸命の努力をし、この合併協議会の進行にご尽力を頂きました合併推進室の皆さんにもあらためて感謝を申し上げ、心から感謝の気持ちを皆様にお伝えいたしまして、ごあいさつに代えさせていただきます。

長い間、本当に皆様方にはありがとうございました。

ありがとうございました。

委員の皆様には、長期間にわたりまして大変ありがとうございました。

ただいまの時間は、14時35分でございます。この時間を会議閉会時刻と定めまして、第6回栃木市・大平町・藤岡町・都賀町合併協議会を閉会いたします。

大変ありがとうございました。

◎大橋事務局
長